

## 【転倒しないための環境整備について】 主任作業療法士 市森 知恵

作業療法では、病気やけがの直後から症状に合わせて心とからだの基本的な機能の改善を援助するとともに、新たな機能の低下を予防します。また、低下した機能を補うため自助具の紹介や環境の整え方、予防の方法をアドバイスすることもあります。

今回、転倒予防について環境面からアドバイスを行いたいと思います。転倒の多い場所として自宅の庭、リビング、玄関、浴槽や寝室、階段や廊下などが挙げられます。外出先よりも自宅内の転倒が多いようです。ちょっとした段差につまずく、暗くて足元が見えにくい、コードやカーペットなどに引っかかるなどの要因が多く、慣れた環境であるため注意が不足することも原因の一つです。リビングのコードをまとめてみたり、必要のないマットは思い切って排除する、段差のある場所には手すりを設置したり、スリッパではなく滑りにくい靴下に変えてみる、足元が暗い場所には照明を足してみることをお勧めします。

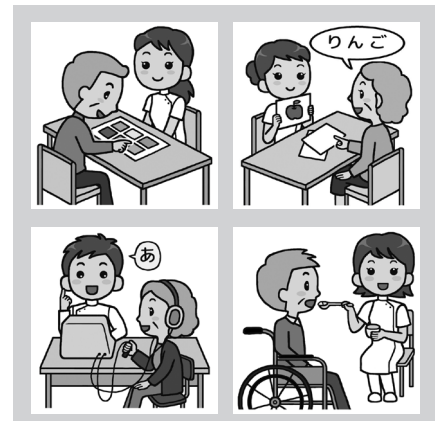
今一度、自宅内を見渡して転びそうな原因がないか確認しておくといよいでしょう。一番多く居る場所だからこそ、しっかりチェックして備えることはとても大事です。

## 【言語聴覚士とは】 主任言語聴覚士 小倉 忠裕

魚津市民の皆さんこんにちは。リハビリ（リハビリテーション）に従事する「言語聴覚士」についてご紹介したいと思います。

言語聴覚士（国家資格）は、ことば・食べること（せつしょく えんげ摂食・嚥下）・こうじのうきのうしょうがい高次脳機能障害・聞こえなど、コミュニケーションに障がいのある方やその周囲の方々に対して、医師、看護師、りがくりょうほうし さきょうりょうほうし理学療法士、作業療法士、医療ソーシャルワーカーなどと連携を取りながら、QOL（生活の質）の向上や社会参加のための専門的な支援や援助を行います。富山労災病院では2名の言語聴覚士が働いています。

具体的な仕事内容は、話すこと・食べること・聞くことなどに問題がある方に対して、評価・訓練・相談・助言などのリハビリテーションを行っています。当院でも話すことが不自由な方には、周りの人と豊かな人間関係を築けるよう、食べるのが困難な方には、食事の内容を工夫し楽しく食事ができるよう、支援しています。



## 【富山ろうさい病院 院内公開講座・生活習慣病教室】のお知らせ

場所：富山ろうさい病院 2階採血室待合フロア

### 《院内公開講座》

3月頃開催予定としておりました院内公開講座は、都合により延期とさせていただきます。心待ちにしていた皆様には申し訳ございませんが、ご理解の程よろしくお願い致します。次回の開催につきましては、決定次第お知らせ致します。

### 《生活習慣病教室》

※2階外来受付にお声掛けください。

**日時** 令和6年4月24日（水）  
14時00分～15時00分

**テーマ** 「糖尿病基本のキ」

**講師** 決定次第お知らせ致します。